

会 議 録

会 議 名	平成28年度第3回小金井市史編さん委員会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	平成29年2月6日(月) 午前10時から11時		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎801会議室		
出 席 委 員	根岸委員長 牛米副委員長 中嶋委員 日高委員 林委員 井上委員		
欠 席 委 員	上原委員 山本委員		
事 務 局 員	石原生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事(学芸員)		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	無
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 平成28年度事業について</p> <p>ア 『小金井市史編纂資料第56編 梶野家文書(1)』の発行について</p> <p>イ 古文書講座の開催について</p> <p>(2) 部会の活動について</p> <p>ア 各部会について</p> <p>ア) 考古部会</p> <p>イ) 近世部会</p> <p>ウ) 近代部会</p> <p>エ) 現代部会</p> <p>イ 市民協力員について</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 今後の事業計画について</p> <p>ア 『通史編』(平成30年度)について</p> <p>イ 『資料編 考古』(平成30年度)について</p> <p>ウ 市史編纂資料の翻刻について</p> <p>3 配付資料</p> <p>(1) 小金井市史編さん活動 市民協力員調査項目一覧(資料1-1~4)</p> <p>(2) 『小金井市史編さん年次計画』(資料2)</p> <p>(3) 第2回小金井市史編さん委員会 編集委員会議 概要(資料3)</p>		

会 議 結 果

根岸委員長 定刻になりました。市史編さん委員会を開催いたしたいと思います。それでは、次第に従いまして、事務局から報告をお願いいたします。

高木主事(学芸員) 報告の前に、配付資料の確認をさせていただきます。
次第に添付していますが、まず資料1-1から1-4までの「小金井市史編さん活動 市民協力員調査項目一覧」、資料2「小金井市史編さん年次計画(通史編作成計画)、資料3こちらは、11月に行いました編集委員会議の概要、それと、本日現代部会長の中嶋委員から現代部会の活動内容の資料をいただいています。
東京都遺跡調査研究発表会のチラシをお配りしています。今回は武蔵小金井駅南口の宮路楽器ホールが会場です。小金井市が会場市となっている関係で、小金井市史編纂の中で分かってきた部分も含めた考古部会の成果もごございますので、小金井市の遺跡について発表いたします。もしお時間がございましたら、ご参加ください。資料の説明は以上です。

1 報告事項

(1) 平成28年度事業について

ア 『小金井市史編纂資料第56編 梶野家文書(1)』の発行について

高木主事(学芸員) 今年度刊行を予定しております、『小金井市史編纂資料第56編梶野家文書(1)』事務局の方で原本校正を済ませまして、近日中に印刷業者に発注しまして、年度内に納品の予定となっております

イ 古文書講座について

高木主事(学芸員) 平成28年度の古文書講座は、2月26日、3月5日、3月12日の各日曜日、合計3回実施いたします。古文書講座の講師は近世部会の調査員太田和子さんをお願いしております。小金井市地域の近世の古文書をテキストとして初心者向け入門講座として、毎年行っているものです。

根岸委員長 報告について、何かご意見、ご質問はございますか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

次に部会の活動につきまして、考古部会からお願いします。

(2) 部会の活動について

ア 各部会について

(ア) 考古部会

日高委員 前回以降、2回部会を開きまして、後は個別に各々の専門分野について市史編さんに関わる活動を行ってきております。そういう中で、小金井市史の考古編については、縄文時代がメインになってきます。縄文時代の報告書は従来もありましたが、遺跡それぞれの全体像をあまりきちんとした形で出されていなかったもので、整理する方向で調査員が鋭意進めてきているところです。

今までの調査成果を一つにまとめるような形にし、市史にのせるための

基礎データの収集については、貫井遺跡ですとか、大規模な遺跡、遺構に関しては、大分進んできたというところです。今後は、遺物に関してどう扱っていくかが課題なのですが、できるだけ、写真を載せていきたいという希望もあります。写真を載せていくということについては、事務局の方から後ほど説明をお願いしたいと思います。

縄文時代と旧石器時代の遺跡が小金井市はメインになるのですが、出土した石器の原産地の分析を今まで散発的にはやられていたのですが、この際まとまった形できちんとやりましょうと、分析について、現在、鋭意できる方向で進めているところです。これについても事務局の方からご説明いただければと思います。以上です。

根岸委員長 考古部会について、何かご意見、ご質問がありますでしょうか。ありがとうございます。

(イ) 近世部会

根岸委員長 近世部会につきましては、今年度が、現在資料編の刊行にあたってまして、前に全体の目録をお示ししたのですが、編纂しているうちに少し変わってきました、章の数が変更したり、掲載した資料についても、校正をしているうちに問題があって加除をしたりしておりますが、何とか年度内刊行ができる見込みです。何かご質問等がございますでしょうか。

牛米委員 28年度の事業の中に近世編の刊行が入るのですよね。

根岸委員長 そうです。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、近代部会、お願いします。

(ウ) 近代部会

牛米委員 近代部会は、月1回の部会を行い、通史編の章立ての作成と、細かいところでの調整を行いました。予算的な都合で、年度内は1月の部会の開催で今年度の部会は終了となっております。

根岸委員長 近代部会について、何かご意見、ご質問ありますかでしょうか。よろしいでしょうか。次に、現代部会お願いします。

(エ) 現代部会

中嶋委員 現代部会は、直近の活動について、報告いたします。今のところ、こういう方達に聞き取り調査をしております。お配りした資料に沿ってお話しいたします。

漢人明子さん、保育園活動や市議で活動された方、陣内直行さんは、社会運動に関わった方、林茂夫先生は、市職員、市議をされたご経験のある方、若木稜江さん、共産党の市議としての政治活動をされた方、石坂一郎さん、ジャノメどおりでコロッケ店をされていた方で、戦時中、戦後の体験を伺いました。坂本守さんは、市役所の職員で管理職として、行政管理課長を最後に退職された方で、採用された際の公民館活動、市民映画会の活動の盛んだった時代について伺いました。

本日は、鴨下勇さんに戦争体験を中心に伺う予定で、お話のできる方で、元市長の方、佐野浩さん等を予定しています。

小金井北高校は図書館の調査に行く予定で、小金井第一小学校では、以前の行事の際に、写真の展示をされたという情報があったので、調査にいつてみようと思っています。石坂さん個人所有の写真を提供した後に戻ってきてないということを知ったので。

今回は、聞き取り活動を多く行ったので、調査員数の謝礼がなくなってしまったので、経費がかかる活動は、来年度にまわし、今年度は残務整理を行う予定です。

根岸委員長 写真集を小金井市が以前から刊行していたものについては、文化財センターにはあるのですか。

高木主事(学芸員) あります。

根岸委員長 何かご質問、ご意見ございますか。

林委員 今お話伺ってしまして、予算がなくてなかなか思うように進まず苦労されているご発言が多かったと思うのですが、何か事務局の方でお考えがあるのですか。

石原生涯学習課長 大変各部会の調査員の方々には、予算に限りがある中で、非常に密度の濃い調査をしていただいて、感謝していると共に、次に予定されている調査が予算の関係でなかなか十分にできなくてご迷惑をおかけしていることを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

市の教育費全般について、議会などでも、もう少し教育費を措置してもよいのではというご議論もある中で、なかなか財政が厳しいのか、来年度も今年度と同額程度の市史の予算の枠の中で、来年度については、その予算の中でやるしかないのですが、平成30年度に向けては、周年事業としての位置付けも市史の編纂についてはあるということや、市史の完成に合わせて、市民へのPR活動をしていく中で、市史の予算を増額して、皆様方にも十分な活動ができるように工夫していきたいと考えてございます。

林委員 今日、本会議があるので、副市長、教育長が欠席なのですが、本当はご意見をお聞きしたいところですよね。

根岸委員長 そうですね。他にございますか。

中嶋委員 周年行事に向けたPR活動については、どのようなことを予定されているのですか。

石原生涯学習課長 私個人だけで考えている予算を獲得するための工夫なのですが、今までは、市史という切り口ではなく文化財行政の形で文化財講演会や史跡めぐりを行ってきたのですが、そういう予算を、市史の完成の成果を市民の方達に現地を見ていただくとか、市史によって新たな発見があったことをPRするとか、既存の文化財予算を市史に寄せて実施する費用を確保することを考えています。

中嶋委員 市史の関係者が何か話をするとか、フィールドワークで案内するとかの行事も考えられているのですか。

石原生涯学習課長 場合によっては、古文書講座をお願いしてきた太田さんなどに広く市

史に結び付けて講演などをしていただくことも考えていきたいと思っています。

根岸委員長 他の自治体では、各部長が交代で年に1回や2回話をしたり、完成の前後に向けて、担当者と聞き取りをした方と一緒にシンポジウムのいろいろな思い出を話していただいたり、そこから問題点を見つけていくという試みをしているところもあります。特に近代、現代というのは、身近なところで、写真を見て、絵解きを試みたりするとか、そういう工夫をすると単に写真の展示会を開くというのとは違った話になっていきます。そんなところもあるかと思いますが、少しそういうところに工夫をしていただけたらと思います。

井上委員 私も今のご意見に賛成で、これだけ努力して良いものを作ろうとしていらっしゃるわけですから、それをなるべく市民が身近に感じられるような、そういう工夫をしてもらって、小金井市の良さの再発見をする場としていただけたら嬉しいです。

根岸委員長 ありがとうございます。

予算の件ですが、今まで、資料編を刊行する部会だけが動いていたところから、全部の部会が同時並行で動き出したところが、今まで余裕があった予算が急に膨大になってきたということがあるために、たぶん事務局の方でも予算のやりくりにご苦労されているところかと思いますが。

たぶん、来年度、再来年に向けて、活動は活発になってくると思いますので、ご配慮いただけたらと思います。

それでは、イ 市民協力員について、お願いします。

イ 市民協力員について

高木主事(学芸員) こちらは、資料1-1から1-4までをご覧ください。今回の1年間の報告は、1-4の今回に該当する部分です。

改めてご説明いたしますと、市民協力員については、平成22年度から、畑野時夫さんに委嘱しまして、調査を継続してきました。お願いし、主に明治22年から昭和20年までの小金井市の詳細年表の作成、また、小金井市内在住の実業家や文化人などの経歴調査を中心に多岐にわたる内容となっております。

資料1のような一覧表データは、各部会の全調査員に配付しております。また、畑野さんから毎月提出いただいている資料全部は、文化財センターに配置されております。

根岸委員長 ありがとうございます。

畑野さんがお一人で作成されているのでしょうか。

高木主事(学芸員) そうです。

根岸委員長 年表作成については、もっと早い時期から作っていらっしゃいませんか。

高木主事(学芸員) 畑野さんについては、平成22年度からの委嘱で、同様に年表作成もその時からの作成となります。

根岸委員長 公表できるものは、まとめて、市史編纂資料集に使用できるように工

夫してもよいのではと思うのですが。せつかくですから。

高木主事(学芸員) 報告いただいたものを、公開できるように、検討してまいりたいと思います。

根岸委員長 畑野さんは、当初、ワープロにてずっと作成されていましたよね。データへの変換はうまくできたのでしょうか。

高木主事(学芸員) 確かに、最初は、オアシスにて作成されていました。現在は、パソコンに対応するもので作成されています。最近、デジタルデータとしていただいていますので、それをもとに資料集というのは、作成可能かと思えます。

根岸委員長 ありがとうございます。これについて、何かご意見、ご質問はございますか。ありがとうございました。

次に議題に入ります。事務局からご説明をお願いします。

2 議 題

(1) 今後の事業計画について

ア 『通史編』(平成30年度)について

高木主事(学芸員) 資料2「小金井市史編さん年次計画(通史編作成計画)をご覧ください。来年度、平成29年度については、市史の発刊はございませんが、通史編の刊行に向けて、近世部会、近代部会、現代部会につきましては、年度末(平成30年3月)までに原稿を提出していただきたいと存じます。考古部会につきましては、通史編の原稿については、更に半年後の提出を目指していただきたいと思えます。

編集委員の皆様には、それぞれの部会の執筆者の進捗状況の把握、又は編集をお願いいたします。また、通史編刊行に向けては、編集方針や校正等の検討につきまして、引き続き編集委員会議の場で内容をつめていきたいと思えます。

平成31年3月までには刊行できるように取り組んでいきたいと思えます。以上となります。

根岸委員長 これについて、何かご意見、ご質問、いかがでしょうか。

特に各部会の方からは何かございませんか。

牛米委員 体裁がまだ確定しておりませんので、その辺も含めて、皆さんには随時お知らせしていきたいと思っています。

根岸委員長 この後の編集委員会の時にもう少し具体的にできればと思えますが。

特に資料3の編集については、この場でなくてもよろしいですか。

高木主事(学芸員) 資料3の第2回小金井市史編纂委員会 編集委員会議概要について、ご説明いたします。前回の市史編さん委員会の後、各部会長にお集まりいただいて、第2回の編集委員会議を行いました。そこでの主な議題といたしまして、市史編執筆におけるルール、要綱案作成に向けてご意見をいただきました。

・各章、節、項という形で構成し、更に小見出しを随時、およそ千字か二千字ごとに一つ以上の小見出しをたてることになりました。

・また、今回通史編は付表をつけず、年表のみを作成することになりました

した。まず、各部会ごとに作成いただき、最終的に一つの年表という形で完成を目指しております。その際、近代以降については、市民協力員の畑野さんの作成した詳細年表も活用していただきたいと思います。

それ以外ですと、本文中の表記、このへんのことが、まさにルールを作成しなければならないので、この後の編集会議で、具体的な部分について話し合っていたいただきたいと思います。以上です。

根岸委員長 編集委員の方達、これについて、何か補足なりございませんでしょうか。

- ・前にA5版で、900から5,000頁くらいのもので、1段組みで書くと。
- ・基本的には白黒だが、カラーも場合によっては入れる。なるべく、図版、写真を入れて親しみやすくする。
- ・また、ページわけは、全部の頁を下の方に振る。
- ・なるべく読みやすくする。
- ・執筆だけでも大変なので、表は年表のみでとなりました。

そのようなことが話し合われました。この後編集委員会で具体的に執筆要綱について考えていくこととなっております。

これについてよろしいでしょうか。

では、資料編考古について、お願いいたします。

イ 『資料編 考古』(平成30年度)について

高木主事(学芸員) 資料編考古について、来年度以降の計画等について説明していきたいと思います。先ほど日高委員からご説明があったように、縄文時代の土器の出土資料が膨大です。そのため、写真撮影の業務委託を予定しております。また、石器の原産地の特定についての業務委託も、まだ予算要求の段階で、確定はされておりませんが、想定しております。

全体の活動は、おおむね30年3月までに、資料編のための掲載図版を作成いただきまして、上半期の資料編の刊行を目指していただきます。

同時に、大変だとは思いますが、同時並行という形で、通史編の執筆もすすめていただければと思います。

根岸委員長 日高先生の方から何かありますか。

日高委員 今年度の委託業務については、どのような状態ですか。今週半ばまでにでも提出しないと今年度中の執行が難しくなります。後ほど教えていただければと思います。

高木主事(学芸員) 今、事務手続きを進めているところです。

ウ 市史編纂資料の翻刻について

高木主事(学芸員) 編纂資料の翻刻、調査関係でございますが、今年度刊行の梶野家文書、こちらは、タイトルのとおり1と書いてございます。実は資料点数が千点ある膨大な古文書群となります。また、今年度スタートと共に数年間の計画で、随時刊行していく予定でございます。刊行と共に翻刻作業も進めてまいりますので、根岸委員長を始め、市民グループの方達のご協力を得ながらすすめていく予定です。よろしくお願いいたします。

根岸委員長
高木主事(学芸員)
根岸委員長
牛米委員

今年度刊行分で、梶野家文書は何番くらいまで終わりましたか。百点です。

となると、十巻ほどになるのでしょうか。

今、市史編纂資料についてご説明があったように、梶野家文書の編集は、結構大変な作業となりますよね、資料2によると、平成30年までとなっています。史料は千点くらいあるということですが、平成30年以降も刊行を続けることはできるのですか。

石原生涯学習課長

市として意思決定したものがこの平成30年度までの計画までなので、市としては、今後の状況については、白紙の状態ではあります。仕事自体は続いていくので、今までと同様に市史編纂資料として独立して確保していけるのかは、平成31年度に向けて検討をすすめなければいけない状況です。

牛米委員

市史編纂委員会の中でも今後のこの件についての提案をした方がよろしいのですね。分かりました。

根岸委員長

重要な話だと思います。昔の小金井市史ができた時に始まって、後に、今の小金井市史ができるまで、30年間ほどずっと空白の期間があったのですが、その間も編纂が継続してきたからこそ、小金井市史がスムーズにできたということもあります。地道な努力は続けていくようお願いできればと思っています。ここで集めた資料の保管、整理、公開についても、今後考えていかなければいけないと思いますので、あわせて考慮いただきたいと思います。

これについて何かありますか。

牛米委員

貫井新田の話について、皆さんにご報告してよろしいですか。

根岸委員長

先生が見つけれられたので、是非お願いします。

牛米委員

この前、たまたま、古本屋で目録を買ったところ、貫井新田の資料が東大の経済学部にあることが分かりました。根岸先生や文化財センターの方に聞いたところ、聞いたことが無いということでした。コピーできるものでしたので、文化財センターにコピーをお願いしておきました。新しく使える資料がまだあることが分かって私としては、嬉しい話なので、報告しました。

根岸委員長

ありがとうございます。東大の経済学部教授の土屋喬雄（たかお）さん、日本経済史の関係で有名な方なのですが、その方の集めた資料があり、それが公開されているのですが、その中に、貫井村の年貢関係の資料で、今、小金井市には無い資料が十数点ありました。貫井関係の資料は、鈴木英男さんの資料が小金井市にはあるのですが、実は、鈴木英男さんは、後から名主になった方で、その前にたぶんもう少し古い名主の家があって、そこからたぶん流れたのではないかと思われるのです。

牛米委員

購入資料だと思います。古本屋などでの。

根岸委員長

土屋さんは、戦前からそういう資料を収集している方ですので、そういう物件を、牛米先生が見つけれられたのです。

もう3か月ほど早く見つければ、今回の近世の資料に入れられたものだったのですが。まだそういうような形で、各地で資料が見つかること

がありますので。これからもまだ、でてくるということを考えなければいけないと思います。ありがとうございます。

根岸委員長 全体をとおして、何かありましたらお願いします。

それでは、来年度の開催予定について、お願いします。

山崎文化財係長 平成29年度の委員会開催日については、前回皆様のご都合を伺った結果、日高先生が午前中に授業が入る予定でしたので、下記のとおり日程で会議室をご用意しております。

第1回は平成29年5月15日（月）、第2回10月16日（月）、第3回は平成30年2月5日（月）いずれも午後2時から、市役所第二庁舎8階801会議室となります。

根岸委員長 とりあえず、今回は、第1回平成29年5月15日（月）午後2時～で、10月、2月につきましては、この予定にしておいて、ご都合が悪いようでしたら、5月に検討するという事でよろしいでしょうか。

それでは、編さん委員会、無事終わりました。どうもありがとうございました。

（全 員） ありがとうございました。